

9 大雨・洪水・雷から身を守ろう

大雨・洪水・雷の危険性について知り、どのように身を守ればよいかを考えよう。

○大雨・洪水による危険

石巻市は北上川、旧北上川という二つの大きな川にはさまれた場所に位置しています。豊かな恵みをあたえてくれる川ですが、昔は大雨が降ると、河川が増水し、堤防が壊れるなど、大きな水害をもたらしました。現在は、排水処理場が整備されたことや、護岸工事などによって大きな水害が起こることは少なくなってきています。しかし、日本各地では、毎年のように大雨や長雨による洪水、土砂災害の被害にあっており、注意が必要です。また、最近では、短時間に限られたせまい地域に多くの雨が降ること(ゲリラ豪雨)があります。ゲリラ豪雨によって、普段は浅い川でも、急激に水かさが増したり、地下にある施設などに雨水が流れ出したりすることがあります。



デジタルテレビの場合

デジタルテレビをご覧の方は、リモコンのdボタンを押すだけで、簡単にデータ放送画面を表示できます。

- ①リモコンのdボタンを押してデータ放送画面を表示させる
- ②矢印キーで「防災・生活情報」を選び「決定」を押す
- ③「避難情報」や「開設避難所」を選び「決定」を押す ※情報が無い場合は押しません
- ④情報がある市町村が並んでいるので見たいところを選ぶ

国土地理院
「重ねるハザードマップ」
国土地理院
「洪水はなぜ起こる？」



かみなり きげん
○雷による危険

次のような変化を感じたら、^{せきらんうん}積乱雲（^{にゅうどうくも}入道雲）が近づいてくるし
るしです。間もなく^{はげ}激しい雨と^{かみなり}雷がやってきます。^{たつまき}竜巻が^{おそ}襲って
くるかもしれません。



真っ黒い雲が近づいてきた



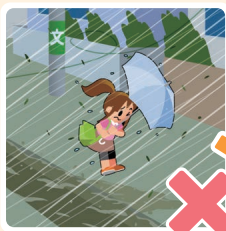
かみなり
雷の音が聞こえてきた



急につめたい風が吹いてきた

すぐに危険な場所からはなれ、安全な場所にひなんしましょう！

まよっている時間はありません。「自分はだいじょうぶ！」「恥ずかしい！」という気持ちは
すてて、すぐに危険な場所からはなれましょう。お父さんやお母さんにも声をかけて！



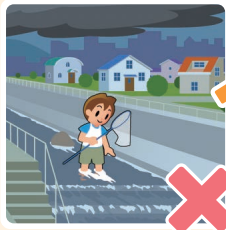
激しい雨の中を歩くのは危険。
しばらく雨宿りを！



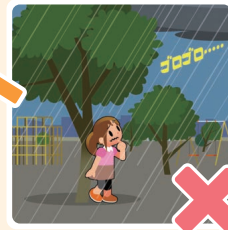
しばらくの間、
じょうぶな建物の中で、
身を守りましょう。



雷が落ちたり、突風でゴールが吹き飛
ばされたりします。建物の中に入って！



あっという間に水かさが増え、
流れが激しくなります。
川のそばからはなれて！



木に落ちた雷で感電することがあり
ます。木のそばからはなれて！

きしゅうちょう ききゅう かみなり たつまき ばつすい
気象庁リーフレット「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」より抜粋

○大雨・^{こうずい}洪水・^{どしゃさいがい}土砂災害から身を守るにはどうすればよいか、考えたことを書きま
しょう。
